

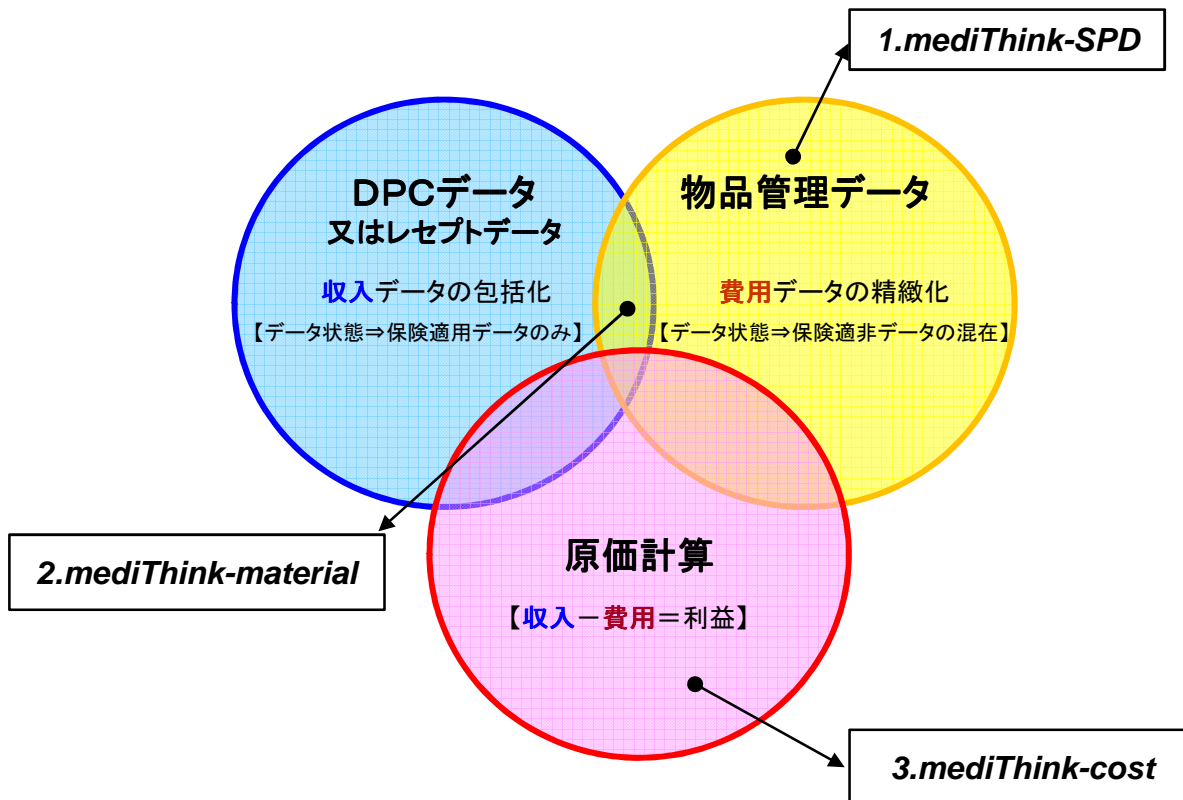
## 費用データの的確な把握から原価管理体制構築へ

# mediThink

強固な収入管理体制から強固な費用管理体制へ！そして原価管理体制の構築を提案いたします。

1. 物品管理体制を構築し、
2. 「費用分析」と「収入と費用の相互分析」を行い、
3. 病院運営実態の可視化を目的とした「原価計算」を実現し、
4. 意思決定に資する経営管理データを作成し、

具体的な経営改善策の立案を目的としたものが **mediThink** です。



※貴院の運営状況、システム導入状況に応じて **mediThink** は柔軟に対応いたします。

### 病院経営に対する意思決定を、**mediThink** がサポートします

『病院経営の見える化』の鍵は、「情報の共有化」と「業務運用の標準化」であり、院内情報のデータ化と伝票管理を基にした各部門間の情報共有の促進により達成されます。

**mediThink**は、管理会計学の専門家、公認会計士、原価管理実務家の三者の視点を統合したものを、物品管理と原価計算のノウハウを提供いたします。

## mediThinkの3サービスと mediThink-decision

### 1. mediThink-SPD

物品管理システム(無償提供)を導入することにより、費用管理を精緻化すると共に原価管理体制の基礎作りを行います。

### 2. mediThink-material

「費用データの分析」から「収入データと費用データの差因分析」までを行うことにより、購入から消費までの課題分析を行い、消費データと医事請求データとの差額を分析することにより請求漏れを含めた機会損失の解消を行います。

### 3. mediThink-cost

学術・実務・財務の観点から検証された原価計算手法により現場を可視化し、納得性の高い原価計算を実現し経営意思決定に貢献いたします。計算が目的ではなく、結果からの経営改善が目的です。

### 4. mediThink-decision

mediThinkの3サービスにより蓄積されたデータを経営管理の観点から体系的に整理し、財務会計と管理会計の両面から分析を行い経営幹部の意志決定をサポートいたします。

#### ～活用例～

医事データと物品管理データの月次対比管理

収入・費用との差分調査→請求漏れ対策

「償還・自費」の比率把握→経営効率向上対策

PDCAサイクルによる価格交渉の定着

在庫管理・定数管理データ活用→医材使用率の把握

原価計算による原価要素別管理

年次原価計算による収益構造把握

月次原価計算によるコスト管理

など

「経営視点での物品管理」を起点に病院の「情報化に応じた原価管理体制構築」をご支援させていただきます。これらの実例をご紹介しますので、下記宛ご連絡ください。



メディープルーブ株式会社 <http://www.mediprove.co.jp>

〒617-0852 京都府長岡京市河陽が丘1丁目22-6

TEL・FAX :075-954-4117 E-mail:info@mediprove.co.jp